

病害虫発生予察情報

1 2 月月報

平成 30 年 1 月 22 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2017 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	11.6	-1.9	1.1	-1.7	6.2	-1.8	3.0	15	63.8	120
中旬	11.2	-0.8	-1.0	-2.4	4.9	-1.6	0.0	0	76.8	132
下旬	11.2	-0.1	-0.6	-0.7	4.9	-0.6	10.0	58	80.9	119
平均	11.3	-0.9	-0.2	-1.6	5.3	-1.3				
合計							13.0	25	221.5	123

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬はかなり低く、中旬は低く、下旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上旬は平年並、中旬はかなり少なく、下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は多かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。気圧の谷の通過後は寒気が流れ込んだため、日平均気温は低く推移した。

中旬：冬型の気圧配置となり晴れの日が多くなった。寒気の影響で気温が低く推移した。

下旬：はじめは移動性高気圧に覆われ晴れた。期間の中頃は発達した低気圧の通過により雨となった日があった。その後は冬型の気圧配置となり晴れの日が多くなったが、終わりには低気圧の影響により雪となった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトはおおむね順調であった。促成イチゴは秋の日照不足の影響で頂花房の花数がやや少ない傾向であった。

葉菜類：コマツナやホウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。キャベツ、ハクサイは低温の影響で生育・結球が遅れる傾向であった。

根菜類：ダイコンはやや生育が遅れる傾向であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病

< 並 >

発生は平年並であった。

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナミハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
（2）花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

（3）島しょの病害虫

三宅島：サヤエンドウでうどんこ病の発生が多かった。

小笠原：マンゴー及びレイシでアカオビアザミウマの発生がやや多かった。また、レイシでナンカイヒゲトナミシヤクの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。